



突然現れた私を
 何度も何度も
 助けてくれた
 強くて優しい人。
 でも彼は――。

INTRODUCTION

SNSを中心に「とにかく泣ける」と話題になり、累計発行部数70万部を突破した沙見夏重によるベストセラー小説「あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。」(スターツ出版文庫)。

現代の女子高生・百合が、1945年の日本にタイムスリップし、そこで出会った影にどんどん惹かれていくが、彼は特攻隊員だったという、この世代を問わず泣ける原作が、NHK連続テレビ小説「舞いあがれ!」(22)を始め主演作が相次ぐ福原通、「中学聖日記」(18/TBS)での鮮やかなデビュー後、話題作への出演が続く水上恒司をW主演に迎え、感動の映画化。そして主題歌は、福山雅治による書下ろし新曲「想望」。壮大なバラードが映画のラストを彩る。

人を愛すること、大切に思うこと、共に生きること――。

今では当たり前のことが許されなかった時代に出会った、百合と影。

2人の時を超えた愛が交差する、涙なくしては観られないラブストーリーがこの冬、誕生する――。



STORY

戦や学校、すべてにイライラして不満ばかりの高校生の百合(福原通)。
 ある日、進路をめぐって母親の幸恵(中嶋明子)とぶつかり家出をし、近所の防空壕跡に逃げ込むが、

朝目が覚めるとそこは1945年の6月―戦時中の日本だった。

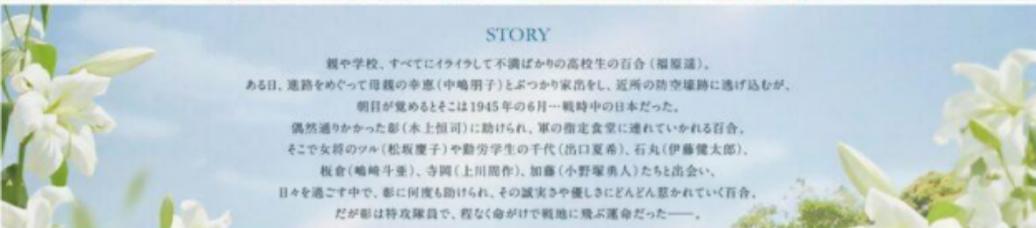
偶然通りかかった影(水上恒司)に助けられ、軍の指定食堂に連れていかれる百合。

そこで女将のツル(松坂慶子)や勤労学生の千代(出口夏希)、石丸(伊藤健太郎)、

板倉(嶋崎斗星)、寺岡(上川周作)、加藤(小野塚勇人)たちと出会い、

日々を過ごす中で、影に何度も助けられ、その誠実さや優しさにどんどん惹かれていく百合。

だが影は特攻隊員で、程なく命がけで戦地に飛ぶ運命だった――。



八千代平和事業

昭和62年、平和希求のもと「平和都市宣言」をした八千代市では、平和であることの尊さを永遠に伝えていくため、市民等で構成された「八千代平和事業市民実行委員会」とともに、平和への取り組みを行っています。

◀ 平和祈念碑 (昭和61年八千代市市民会館前に建立)

